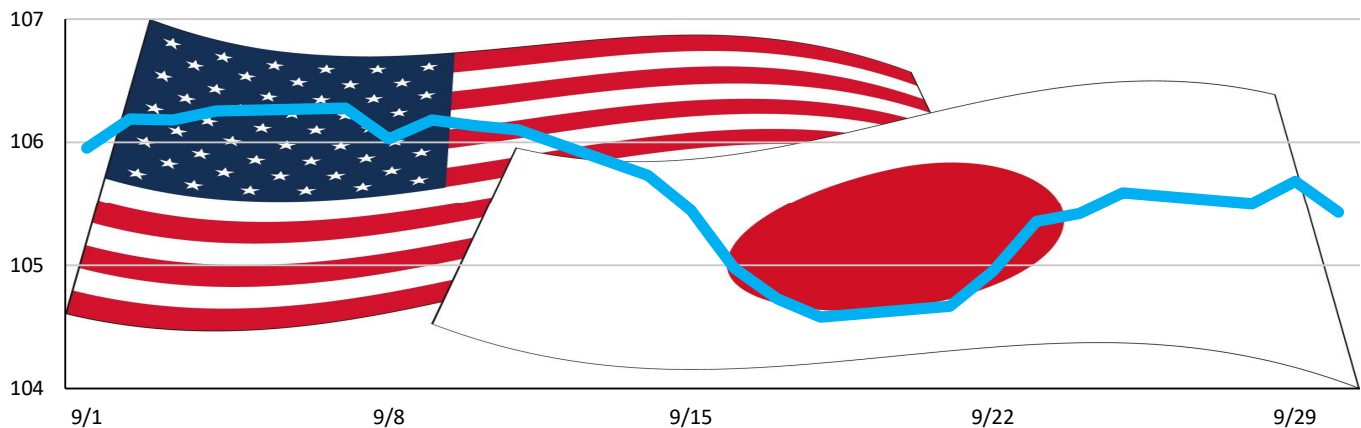


MARKET REVIEW

先月の振り返り：9月のドル円相場は106円半ば～103円後半で推移。先月末の安倍首相辞任表明による影響は安倍路線を継承する菅官房長官が総裁選へ出馬の意向を固めたことで落ち着きを取り戻し、106円台前半を中心に推移した。月中のFOMCでゼロ金利政策長期が示唆されたことによりドル売りが先行。日銀金融政策決定会合でも同様の方針が示されたこともあり、ドル円は一時104円を割り込んだ。ただ、欧州で新型コロナ感染者が再び急増し、ユーロ売りドル買いとなったことで円高も一旦歯止めがかかり、月末に米大統領候補討論会を控え、様子見ムードが続いていたが、討論会終了後の評価でバイデン氏有利と報じられたことから、再びドルが売られ9月を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：トランプ大統領が新型コロナに感染したことがわかり、マーケットは一時パニック。重症説も飛び交うなどしたが、一先ず快方に向かっていることでマーケットは落ち着きを取り戻した。とはいえ感染対策より経済対策を優先してきたトランプ大統領が新型コロナに感染したことによって、11月に迫った米大統領選挙への影響が懸念される。早期回復をアピールしているが、仮に現職大統領敗北となるとコロナショック後も堅調に推移してきた金融市場への影響は小さくない。ポジションの取り方について注意しておく必要があるようだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 16 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
10 / 29 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
10 / 29 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
11 / 5 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
11 / 6 (金)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
11 / 6 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 12 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。